

航空自衛隊入隊者ご家族からの嬉しい知らせ

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤 一尉）は4月6日（金）、航空自衛隊熊谷基地で行われた一般曹候補生入隊式に参列された入隊者家族から息子が入隊式を無事に終えたと4月7日（土）に広報官が知らせを受けた。

今春高校を卒業し、航空自衛官への道を歩み出した伊澤 真寛（いざわ まひろ）曹候補生は、真新しい制服に身を包み、家族との面会に現われた。3月26日（月）に着隊した際とは見違えるほど凛とした顔つきで、手入れが行き届いた制服姿を見て母親は驚いたという。

伊澤曹候補生の父親からは「無事に入隊式が終わり、本人が仲間と打ち解け合っている様子が見え、少し安心しました。本番はこれからですが、うまくやってくれと信じおります。広報官の松村さんには大変お世話になりました」との感謝の言葉が届いた。

市ヶ尾募集案内所は「ご家族から無事入隊式を迎えられたと嬉しい報告を受けることができました。これからも、ご家族から信頼される募集活動を行なっていきます」としている。

（松村広報官は、現在横須賀地域事務所所属）



入隊式の様子
伊澤曹候補生：写真（中央）



伊澤曹候補生の制服姿

日本体育大学健志台キャンパスで予備自衛官補募集広報

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤 一尉）は4月6日（金）、日本体育大学健志台キャンパス（横浜市青葉区）食堂前にて予備自衛官補の受験者獲得の広報活動を行った。大学の協力により、今年で3回目の実施となった。

学生の昼休み時間に合わせ特設ブースを開設し、予備自衛官の仕事について所長と広報官らが学生へアピールを実施。また、横山正人募集相談員相談役（横浜市議会議員）も支援に駆けつけ、所員と一緒に募集広報活動に参加した。短時間の広報ではあったが、多くの新入生や在校生が自衛隊の予備自衛官補試験について興味を持ってくれた。結果、志願票13通を獲得することができた。

市ヶ尾募集案内所は「大学生に自衛隊に興味を持って頂けるきっかけとなり、予備自衛官補をPRできた有意義な時間となった。今後とも大学と連携を図り、各種目で多くの志願票を獲得していきたい」としている。



学生に説明を行なう横山相談員（左）と青山広報官（右）